

発行所:自由民主党本部 定価1部108円(税込)毎週火曜日発行
住所:〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話:03-3581-6211(代表) ホームページ: http://www.jimin.jp/

さいとう健 特集



さいとう健 農林水産副大臣へのインタビュー他 年末年始号

さる10月に農林水産副大臣に就任したさいとう健さんに聞きました。

Q. 農林水産副大臣といえば、これまでは農林関係議員が就任するのが常だったわけですが、さいとう健さんのような経歴の方が就任するのは初めてと言っていいくらい珍しいのではないのでしょうか。ご感想は？

さいとう健) 日本の農業は高齢化が進展し、しかも人口減少の中で今後国内需要が急速に減少するという重大な局面にあります。今までと同じようにやっていたのでは日本の農業はジリ貧です。そこで、新しい発想が必要と判断されたんでしょう。製造業や商業との接点が多くあるものの、農業政策にはほとんどタッチしたことのなかった私が、2年前自民党の農政の責任者である農林部会長を命じられました。新しい風を吹き込めと。党の方で2年間一連の農政改革に取り組んできましたが、今度は政府の中で引き続き農政改革を推進せよとのことだと受け止めています。

Q. さいとうさんの後任の農林部会長には、あの小泉進次郎氏が就任され、話題になりましたが。

さいとう健) この人事も同じ発想で、いわゆる農林族といわれる人たちでない政治家の発想を取り入れようということだと思います。党の方は小泉進次郎部会長、政府の方はさいとう健副大臣のコンビで、フレッシュな展開をしていきたいと考えてます。

Q. これまで2年間農政に携わってきて、一番欠けていると感じていることは何でしょうか？

さいとう健) 私は常々申し上げているのですが、日本の農業を本当に助けてくれるのは誰かと。農水省ですか？違います。自民党ですか？違います。農協ですか？違います。日本の農業を助けてくれるのは、消費者なんです。これからは、農家がどんどん消費者にアタックしていかなければなりません。新鮮で、安全で、おいしい日本の農作物に対する消費者のニーズは間違いなく高まっています。そういう意味では日本農業の成長余地は高いものがあると思います。

Q. 日本の農業は税金で守られすぎている。特に、コメ。こんなに税金を使うくらいなら、安い海外のコメをどんどん輸入した方がいいのではないかという意見がありますが、さいとうさんはどう考えますか？

さいとう健) 世界の人口が増え続け、地球温暖化も進む中で、今後とも日本が食糧危機になることはない、とは誰も言えないと思います。でも、放っておけば、人口が減り、食べるコメの需要が減少して、水田が荒れ放題になりかねません。加えて、コメの輸入を自由化すれば、日本の水田は壊滅的な打撃を受けます。

(最終ページに続く)

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。平成21年衆議院総選挙において、初当選。3期目。環境大臣政務官、党副幹事長、党農林部会長を経て、現在、農林水産副大臣として農協改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)



後任の小泉進次郎農林部会長とがっちり握手。

(表ページから続く)
一度荒れた水田を再度生産可能にするには、3~4年かかるというときは間に合わない。加えて、水田には、保水や防災、国土保全などの機能もあります。

では、食べるコメの生産を減らしながらも、一定の水田を維持していくためには、どうしたらいいのか。

それには、食べるコメ以外のコメや、ニーズの高い麦、大豆の生産を増やしていく以外に方法はありません。とりわけ家畜のエサとなるエサ米への生産シフトを進めていくのが、現在の農政改革の主要政策の一つです。

豚や鶏や牛の家畜のエサとなるとうもろこしの輸入量は、年間1000万トンと多くを輸入に依存しています。この一定部分を国内生産のエサ米に置き換えることができれば、食べるコメの国内需要が減っても一定の水田は維持できます。いわば、一石二鳥です。

問題は、国民の皆さんがいくら負担しなければならないかです。

現在、日本人は1人あたり年間56キロのコメを食べています。これは、1キロ400円前後の平均的なコメの場合、金額にするにたい年間2万2000~2万3000円ぐらい。だから、1ヵ月2000円弱、1日60円強、1食20円強ということになります。

つまり、日本人1人あたりの1日のコメへの支出は、缶コーヒー1本よりもはるかに少ないのです。食べるコメからエサ米へ生産を移していくためには、エサ米を作っても食べるコメ並の収入がなければなりません。そのためには、どうしても助成が必要になります。その額を仮に計算してみます。

食べるコメの生産量は年間700数十万トンです。仮に、このうち100万トンをエサ米にシフトさせるとしましょう。このために必要な税負担は、約1600億円となります。これは1人1食あたりにすると1円強に相当します。

つまり、日本の消費者の皆さんが、1食あたり20円強払っている現在のコメの支出に、あと1円あまり余分に払っていただければ、エサ米への生産シフトが進み、水田が維持され、いざというときになっても子や孫が飢えるような事態は避けられる。

この1円を高いと見るか、安いと見るか。人それぞれ見方がありましようが、私は、農家のためというよりも、子や孫のためにこの1円を払いたいと思います。

さいとう健は、これからの農政には、こういった国民的見地、消費者の目線の議論が不可欠だと思っています。

こんな記事が載りました!!
『平成27年10月10日 産経新聞 朝刊5面』

副大臣・政務官決定 復興は継続性に配慮

第3次安倍晋三改造内閣を支える副大臣と政務官の顔ぶれが決まった。首相はライフワイクの「教育再生」を推進するため、自身と教育観の近い義家弘介氏を文部科学副大臣に起用し、「攻めの農業」実現へ自民党農林部会長として党内調整に手腕を発揮した斎藤健氏を農水副大臣に据えた。要所に「改革」のメッセージを込めた実務型の布陣となった。(千葉倫之) 2面に連続記事

44歳の義家氏は衆院当選2回だが、参院議員時代を合わせたキャリアは8年超と当選4回並み。第1次安倍政権で教育再生会議の事務方トップに起用されて以来、首相とのつながりは深い。公教育から日教組の悪影響を排除することなど、目指す教育観が近く、教育基本法改正や教育委員

一方、斎藤氏は経済産業省出身で、農政とは無縁とされてきた。ところが、平成25年に党農林部会長に抜擢された。異例の人事として波紋を広げたが、農協改革や環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉などで難しい党内の意見集約に奔走し、評価を高めた。農政に通じた伊東良孝農水副大臣とともに、TPP交渉の大筋合意に伴う国内対策などの重責を担うことになる。斎藤氏は首相のライバルである石破茂地方創生担当相率いる派閥から唯一の起用でもあり、首相が斎藤氏の手腕を評価している裏返しとみられる。(以下略)



twitter

やっています。さいとう犬 こんにちワン!僕、さいとう健の飼犬のさいとう犬だワン!僕から見たご主人様の活動をときどき吠えてるから、みんな登録よろしくワンU(>w<)U

マルマガさいとう健

- ◆氏名・住所の登録不要。
- ◆国政課題、地元の話題について、さいとう健の考えをお伝えします。
- ◆返信をすれば、匿名で意見を伝えられます。
- ◆ホームページからご登録いただけます。

あなたのご意見、お聞かせ下さい。

「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、企画してお呼びいただければ幸いです。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。

後援会入会はコチラ

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224
E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221

